

IBCLC 試験中の授乳時間に関する手順

ラクテーション・コンサルタント資格試験国際評議会® (IBLCE®) および IBCLC 委員会は、母乳育児および授乳ケアの支援に尽力しています。したがって、IBLCEは母乳育児中の母親である受験者に対し、IBCLC®試験中、安全と機密保護に留意しながら、授乳時間を確保するための妥当な便宜を図ります。これらの便宜は、試験の安全と機密保護を保証するための必要条件をすべて満たした上で、受験者である母親に試験中の授乳や搾乳を許可するものです。そのため、試験の第一部終了後に授乳・搾乳時間を取ることは許可されていますが、試験時間の延長は認められません。更に、授乳・搾乳をする者を含め、試験の第一部が終了し退室した受験者は、試験に戻ることは認められません。

承認された受験者は、授乳・搾乳のためのプライベートな空間にアクセスできます。これには、テストセンターによって個室、室内のカーテンで区切られた場所、またはプライバシーテントなどが含まれます。具体的な環境は、テストセンターによってさまざまです。

以下に授乳時間に関する手順の概要を記載します。

1. 授乳の必要のある受験者は、IBCLC試験中に授乳・搾乳時間を取るため退出できるよう、申請することができます。
2. 試験中の授乳時間の取得は、申請書による事前の申請が必要です。また、子どもの出生証明書や出産予定日のコピー等、第三者機関による証明書類の提出が必要です。
3. 授乳時間を取る際は、他の受験者の妨げにならないよう、試験を行う部屋から十分に離れた場所への移動をお願いする場合があります。
4. 授乳時間を取ることが認められた受験者には、授乳時間を取るタイミングや、テスト業者との事前の手続きに関する情報が記載された試験承認メールをお送りいたします。
5. 多胎児への授乳・搾乳が必要な場合は、その旨IBCLCプログラムスタッフへお知らせください。
6. 授乳のために事前に決定した場所・時間に子どもを連れてくることは、保育者の責任となります。試験の安全と機密保護の理由により、受験者が子どもの保育者と連絡を取るために携帯電話を使用することは許可されません。子どもおよび保育者1名のみ、事前に決定した場所・時間で受験者と面会することが許されます。保育者、および子どもが試験会場に入ることは認められないので、ご注

意ください。

7. 授乳時間は、30分間です。
8. 受験者がこれらの対応を取りやすいように試験会場を決定しますが、必ずしも自宅の最寄りにならない場合もあります。